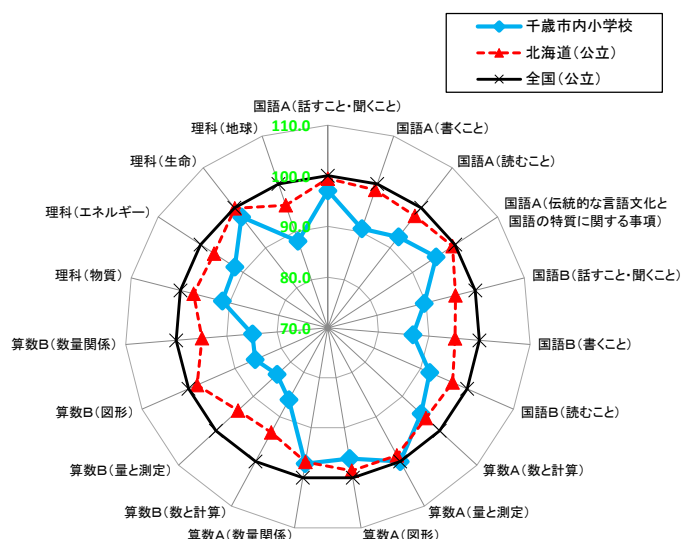


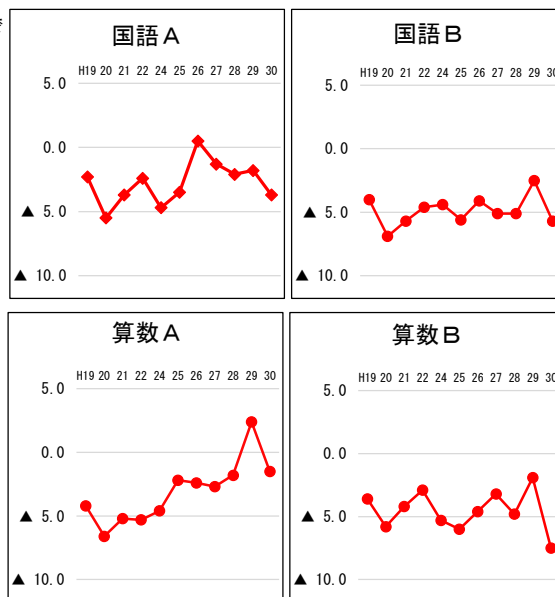
■千歳市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:16校、児童数:881人)

【教科全体の状況】

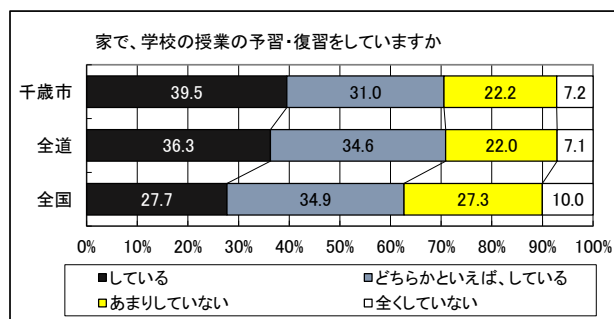
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



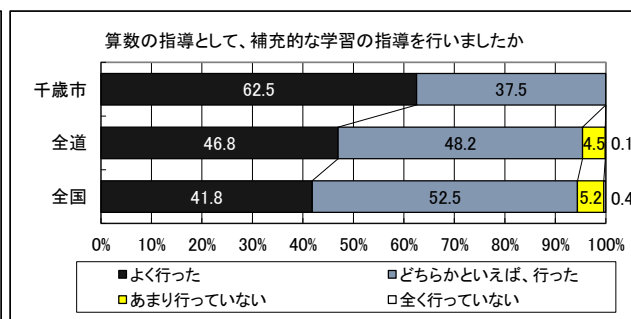
【平均正答率の全国との差の推移】



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 算数Aでは、「量と測定」で全国と同じである。 ○ 理科では、「生命」で全国に最も近くなっている。	○ 学校・家庭・地域の連携を強化し、家庭や地域の教育力の向上が図られたことにより、「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。	○ 各学校において、算数の指導として、補充的な学習の指導を行ったことにより、基礎的・基本的な知識及び技能が身に付き、算数Aの「量と測定」で全国と同じになったと考えられる。
学校質問紙	○ 「算数の指導として、補充的な学習の指導を行った」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

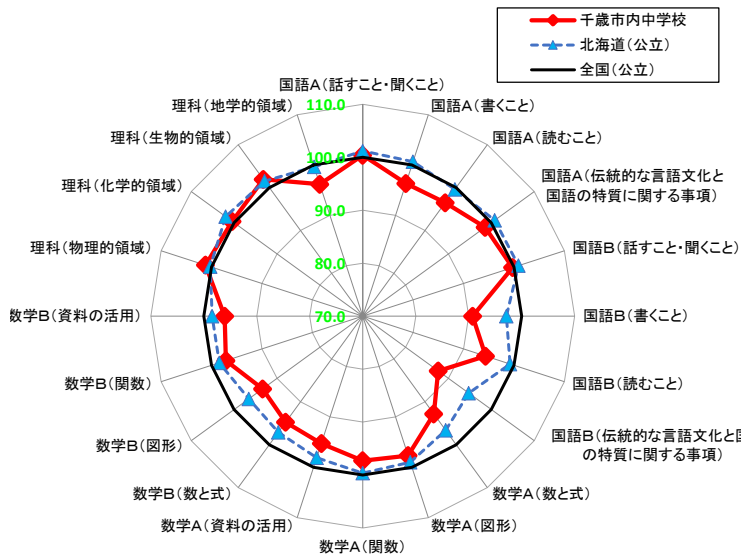
【千歳市の学力向上策】

- ◎ ICT機器の効果的な活用による授業改善
- ◎ 小中連携・一貫教育の推進
- ◎ 学校・家庭・地域の連携の強化による家庭や地域の教育力の向上
- ◎ 習熟度別少人数指導の充実や、学習支援員の配置などによる学習支援体制の強化

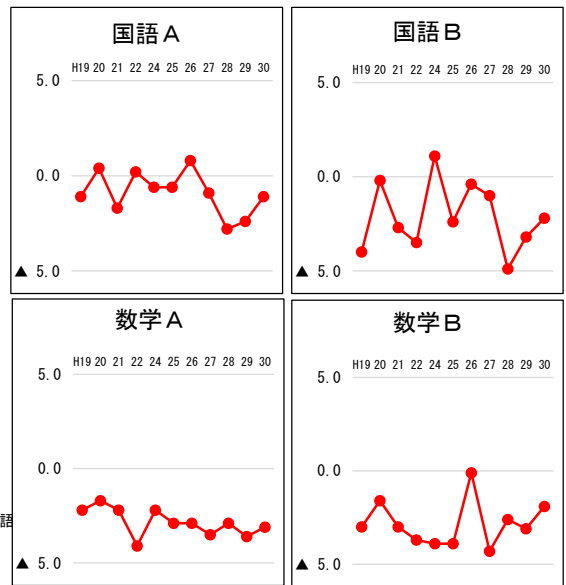
■千歳市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:8校、生徒数:839人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)

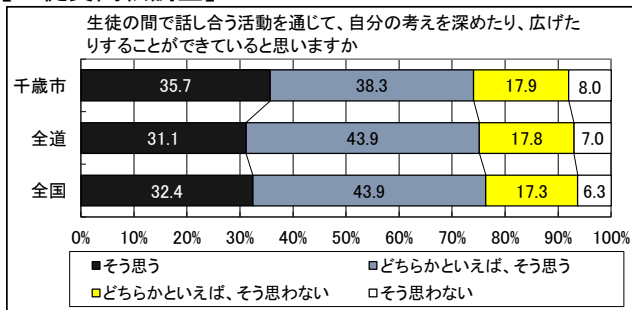


【平均正答率の全国との差の推移】

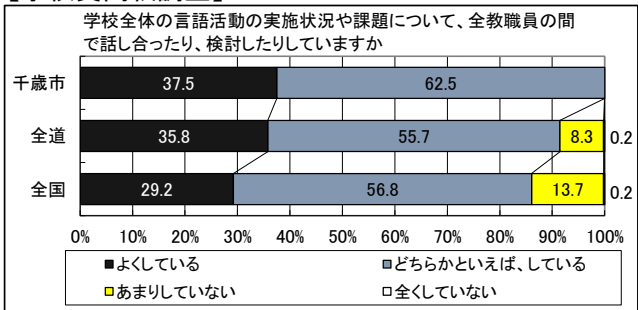


※「平均正答率－全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	○ 国語A・B、数学A・Bにおいて、前年度と比較して、全国との差が縮まっている。 ○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国を上回っている。	○ 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしたことにより、授業において、言語活動の充実が図られ、国語A・B、数学A・Bにおいて、前年度と比較して、全国との差が縮まったと考えられる。
生徒質問紙	○ 「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。	○ 各学校において、言語活動の充実を通して、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善が図られたことにより、「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と回答した生徒の割合が、全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。	

【千歳市の学力向上策】

- ◎ ICT機器の効果的な活用による授業改善
- ◎ 小中連携・一貫教育の推進
- ◎ 学校・家庭・地域の連携の強化による家庭や地域の教育力の向上
- ◎ 習熟度別少人数指導の充実や、学習支援員の配置などによる学習支援体制の強化